

東日本大震災から15年が経過しました 地震に備え、避難経路を確認しましょう

令和7年12月8日に発生した青森県東方沖地震は記憶に新しいところですが、15年前の平成23年3月11日、三陸沖を震源とするマグニチュード(M)9.0の地震、平成23年東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)が発生しました。この巨大地震により、太平洋沿岸を中心に高い津波が押し寄せ、渡島・檜山地方で最大震度4を観測し、函館港では2メートル39センチの津波を観測しました。

日本海溝・千島海溝沿いでは、M7～9のさまざまな地震が発生しています。東日本大震災以外にも北海道から岩手県の太平洋沿岸では、最大クラスの津波は約300～400年間隔で発生したとされており、17世紀に発生した津波からの経過時間を考えると、最大クラスの津波がいつ来てもおかしくないと考えられています。

地震は突然襲ってきます。いつ揺れに見舞われても身を守ることができるように、日頃から地震に備えましょう。また、津波警報・注意報を見聞きしたり、海辺で強い揺れを感じたり、長くゆっくりした揺れを感じたりしたら、海辺から離れ、より高い安全な場所へ避難することが重要です。海の近くにいるときは、最寄りの津波避難場所や高台などへの経路を必ず確認しておきましょう。



<安全を確保するための行動例>



気象庁ホームページ「地震から身を守るために」

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jishin/jishin_bosai/index.html



気象庁ホームページ「津波から身を守るために」

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jishin/tsunami_bosai/index.html



気象庁ホームページ 東日本大震災～東北地方太平洋沖地震～ 関連ポータルサイト

<https://www.jma.go.jp/jma/menu/jishin-portal.html>



▼お問い合わせは、役場総務・防災課防災・デジタル推進室(01372-7-2111)へ。